

第 58 回夏期シンポジウム
「粉体プロセスでの計測・センシング技術の動向と今後の展望」
【講演募集】

主 催：一般社団法人粉体工学会，大阪公立大学工学研究科
協 賛：一般社団法人日本粉体工業技術協会 計装・測定分科会

開催日：2023年9月15日（金）

場所：大阪公立大学 I-site なんば（〒556-0012 大阪市浪速区敷津東 2-1-41）

化学プロセスだけでなく、粉体プロセスにおいても連続生産や AI 等によるプロセス制御が検討されています。連続生産プロセスにおいてその制御をするためには、プロセス中の対象物の状態を把握する必要があります。しかしながら、プロセス中での粉体の状態を計測・センシングする技術、特に、インライン、オンライン計測技術を検討している研究者は少ないのが現状です。そこで本シンポジウムでは、粉体工学を基礎としている研究者だけでなく、粉体プロセスに適用できる計測・センシング技術のご研究をされたいながら日ごろは他領域でご活躍されている研究者をお招きしてご講演いただき、計測・センシングの最新技術情報を共有すると共に、粉体プロセスで測るべき物性、特性に関する検討、現在の計測・センシングで可能な粉体プロセス制御について情報交換し、研究・検討すべき課題について議論する場としたいと思っています。

インラインやオンラインでの粉体、粒子の計測が可能な技術、粉体や粒子の計測に適用できるセンシング技術だけでなく、粉体プロセス制御のために測るべき粉体特性に関する基礎研究やシミュレーションによるプロセス中の粉体の状態予測の研究などの研究成果をお持ちの方も、ぜひご講演をいただきたいと思います。

オーガナイザー：綿野 哲（大阪公立大）、武居 昌宏（千葉大）、
山本 浩充（愛知学院大）、後藤 邦彰（岡山大）

講演種別：研究報告，研究速報，技術報告，技術速報，その他

発表形式：口頭発表

申込締切：[講演申込締切] 7月28日（金）

[講演要旨集原稿提出] 8月18日（金）

（申込者にフォーマットをお送りします。発表1件につきA4用紙2枚の予定。）

講演申込方法：web サイト <http://www.sptj.jp/event/natsu/> よりお申込み下さい。

注：2024年の粉体工学会誌7月号に、「夏期シンポジウム特集号」を組みます。シンポジウムで発表した内容を、論文，研究ノート，技術資料，解説等として希望される方は、2024年1月31日（水）までに最終投稿原稿を事務局までご提出下さい。粉体工学会誌に投稿された通常の原稿と同様に査読が行われます。

参加費：(先行振込扱い：9月8日(金)振込まで)

会員種別	参加登録費
維持会員，賛助会員	1名無料 ²⁾ (特典利用) (2人目から5,000円)
事業所会員，個人会員 発表者，共催・協賛機関会員	5,000円
学生会員	2,000円
会員外	15,000円

注1: 9月9日以降の受付は，参加費に2,000円が加算されます。

(学生会員はそれぞれ1,000円の加算となります)

注2: 参加費無料の**特典利用**は，先行振込期間に申し込まれた場合にのみ有効です。

注3: **参加募集は、8月7日(月)**より受付開始を予定しています。

その際上記料金が変更される場合がありますので予めご承知おきます。